

令和6年度 吉岡町社会福祉協議会 事業報告書

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

I. 社会福祉事業 i. 地域福祉事業拠点区分

1. 法人運営事業サービス区分

1.) 会員加入状況

年 度	世帯数	一般会員 世帯数	一般会員 納入金額	納入割合
令和 2 年度	8,142世帯	6,103世帯	6,103,000円	75.0%
令和 3 年度	8,327世帯	6,166世帯	6,166,000円	74.0%
令和 4 年度	8,547世帯	6,347世帯	6,347,000円	74.3%
令和 5 年度	8,727世帯	6,205世帯	6,205,000円	71.1%
令和 6 年度	8,869世帯	6,427世帯	6,427,000円	72.5%

年 度	賛助会員数	賛助会費	特別会員	特別会費	団体会員	団体会費
令和 2 年度	36人	185,000円	25法人	125,000円	2団体	60,000円
令和 3 年度	35人	180,000円	23法人	120,000円	2団体	60,000円
令和 4 年度	33人	175,000円	26法人	135,000円	2団体	60,000円
令和 5 年度	33人	175,000円	22法人	115,000円	2団体	60,000円
令和 6 年度	30人	155,000円	22法人	115,000円	2団体	60,000円

2.) 役員会・評議員会開催状況

役員会

開催年月日	出席数	定数	議 題
令和 6. 5. 31	10	12	議案第1号 令和5年度吉岡町社会福祉協議会事業報告について 議案第2号 令和5年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出決算について 議案第3号 吉岡町社会福祉協議会評議員会の招集日程について
6. 9. 2	10	11	議案第1号 吉岡町社会福祉協議会会長の選定について 議案第2号 令和6年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出補正予算(第1号)について 議案第3号 吉岡町社会福祉協議会評議員会の招集日程について
6.12. 6	10	11	議案第1号 令和6年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出補正予算(第2号)について 議案第2号 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく吉岡町社会福祉協議会(居宅介護及び重度訪問介護)運営規程の一部改正について 議案第3号 吉岡町社会福祉協議会身体拘束等の適正化のための指針の制定について 議案第4号 吉岡町社会福祉協議会定款施行細則の一部改正について 議案第5号 吉岡町社会福祉協議会評議員会の招集日程について
7. 2. 4	9	12	議案第1号 吉岡町社会福祉協議会事務局職員の給与規程の一部改正について
7. 2. 21	11	12	議案第1号 令和6年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出補正予算(第3号)について 議案第2号 吉岡町社会福祉協議会事務局規程の一部改正について 議案第3号 吉岡町社会福祉協議会事務局職員の給与規程の一部改正について 議案第4号 令和7年度吉岡町社会福祉協議会事業計画(案)について 議案第5号 令和7年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出予算(案)について 議案第6号 吉岡町社会福祉協議会評議員会の招集日程について

評議員会

開催年月日	出席数	定数	議 題
令和 6. 6.21	20	20	議案第1号 令和5年度吉岡町社会福祉協議会事業報告について 議案第2号 令和5年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出決算について
6. 9.26	19	20	議案第1号 令和6年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出補正予算(第1号)について
6.12.12	18	20	議案第1号 令和6年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出補正予算(第2号)について 議案第2号 吉岡町社会福祉協議会役員の選任について
7. 3.21	20	20	議案第1号 令和6年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出補正予算(第3号)について 議案第2号 令和7年度吉岡町社会福祉協議会事業計画(案)について 議案第3号 令和7年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出予算(案)について 議案第4号 吉岡町社会福祉協議会役員の選任について

2. 地域福祉事業サービス区分

1.) 地域担当制『地域つなげる!!つながる!!社協マン』

(1) 事業概要

町内13自治会に、地区担当としてそれぞれ職員を2～3人ずつ振り分け、担当地域の状況を把握し、身近な相談役として、第2期吉岡町地域福祉計画・第2期吉岡町地域福祉活動計画に基づき、「社協の見える化」「地域課題の発掘」「支え合い・助け合いの仕組みづくり」による地域福祉の推進を地域住民とともに図った。

(2) 事業結果

- ・自治会会議への出席 3件(5年度:5件、4年度:15件、3年度:26件)
- ・自治会行事への出席 2件(5年度:1件、4年度:3件、3年度:7件)
- ・民生委員との連携 0件(5年度:0件、4年度:0件、3年度:26件)
- ・サロン、筋トレへの参加 2件(5年度:4件、4年度:1件、3年度:29件)
- ・出張社協 0件(5年度:3件、4年度:0件、3年度:0件)
- ・その他 1件(5年度:4件、4年度:5件、3年度:6件)

【感想・反省・目標】

令和6年度は社協マンとして自治会への参加がとてま少なくなりました。

令和7年度では、近年多発している自然災害時に各自治会ではどのような対応をとるのかを各自治会の対応を把握すると共に各担当職員にも積極的に自治会に声をかける様に呼びかけ、会議等にも今まで以上に参加し災害にとどまらず多くの声に耳を傾け相談活動も同時に行っていきたい。

2.) 福祉ネットワーク推進事業

(1) 事業概要

超高齢社会、核家族が進む中、高齢者及び障がい者等援護を必要とする者への地域ぐるみの援護システム作りを目的とし、各自治会単位で交流事業や見守り活動を実施した。

(2) 事業結果

①助成金

吉岡町13自治会への活動助成金支出

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
会費収入	1,398,820円	1,402,360円	879,228円	642,390円	1,024,998円
町補助金収入	520,000円	520,000円	520,000円	520,000円	520,000円
共同募金配分金収入			520,000円	520,000円	520,000円
事業費	1,918,820円	1,922,360円	1,919,228円	1,162,390円	1,639,998円

②福祉ネットワーク事業の再説明及び見守り体制づくり援助

実施日 令和 6 年 5 月 18 日(土) 寺下自治会福祉委員会
令和 6 年 6 月 14 日(土) 陣場自治会 (高齢者慰安会)
令和 6 年 8 月 18 日(日) 南下福祉ネットワーク元気大会
令和 6 年 8 月 27 日(火)～28 日(水) 福祉ネットワーク施設研修
・視察先：昭和村社会福祉協議会 (昭和村安心お守り隊) 自治会長 11 名参加
令和 6 年 10 月 12 日(土) 漆原東自治会福祉ネットワーク役員会
内容：見守り活動へ共に参加し、再度、見守り活動の重要性を伝えた。

③感染対策物品購入支援

コロナウィルスの位置づけが、昨年の 5 月に 2 類から 5 類へ引き下げをされたことにより、高齢者慰安会を再開した地区もあるが、いまだに高齢者慰安会や世代間交流等の集いの場を感染症を考慮し自粛の地区も多くある。そのため、見守りを目的とした感染症対策用品の配布を認め、一部物品手配の支援を行った。配布して終わりではなく、地域における日々の見守り活動に活かしていただけるよう依頼した。

④要援護者支え合いマップ作成『よしおか支え愛マップづくり』

地域福祉ネットワーク事業を土台に地域の状況を共有・確認し、支え合いの体制を見える化する。

ひとり暮らし高齢者、高齢者世帯及び障がい児者等を平常時はもちろんのこと、災害時においても、地域住民・地域支援者(自治会長、副自治会長、民生・児童委員、消防団員、自主防災組織等)が見守りや安否確認、避難支援を行うため事前にマップを作成し、地域に住むひとりひとりが自分事として主体的に支え合い、お互いに助け合うことができるような地域のつながり強化、地域力の向上を目的に町(協働安全室、福祉室)と共に実施した。

『北下・南下自治会 よしおか支え愛マップづくり』

- ・実施日 令和 6 年 9 月 28 日(土) 18:00～20:00
- ・会場 吉岡町老人福祉センター
- ・参加人数 55 人 (自治会役員、民生委員、消防団 等)

『小倉自治会 よしおか支え愛マップづくり (2 回目)』

- ・実施日 令和 6 年 11 月 24 日(日) 9:00～11:30
- ・会場 小倉集会所
- ・参加人数 31 人 (自治会役員、民生委員、消防団 等)

『漆原西・漆原東自治会 よしおか支え愛マップづくり』

- ・実施日 令和 7 年 2 月 16 日(日) 9:30～11:30
- ・会場 漆原文化センター
- ・参加人数 52 人 (自治会役員、民生委員、消防団 等)

【感想・反省・目標】

本年度では、新たな見守り体制の形を見学するため、他の社会福祉協議会が取組む活動を各自自治会長と共に視察を行った。また、マップづくりに関しても昨年実施した地区の他に新たな地区も取り組むことができた。このような形で事業を継続し、より多くの地域住民と関わりながら、普段からいざというときまで一貫して皆で助け合える地域を目指していきたい。

3.) 社会を明るくする大会

(1) 事業概要

社会を明るくする運動の一環として、青少年問題の現状と課題を明らかにして、青少年健全育成の推進に、町更生保護女性会及び保護司会と協力して実施した。

(2) 事業結果

- ・実施日 伝達式：令和 6 年 7 月 1 日、のぼり旗設置：6 月 28 日
- ・会場 役場及び町内
- ・内容 ア. 町長へ法務省提唱のメッセージ伝達
イ. のぼり旗の設置による啓発活動

	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
会費収入	0 円	42,489 円	8,408 円	8,826 円	10,126 円
事業費	0 円	42,489 円	8,408 円	8,826 円	10,126 円

4.) 障がい児・者交流事業

(1) 事業概要

町内在住、在勤の身体・知的・精神障がい児・者とその家族を対象に、交流を図り、仲間づくりの場となることを目的に老人福祉センターを開放した事業を実施した。

(2) 事業結果

○縁日ゲーム体験

- ・実施日 令和6年8月24日(土)
- ・参加者 9人 他(付添者8人)

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
会費収入	0円	0円	17,353円	29,041円	5,460円
事業費	0円	0円	17,353円	29,041円	5,460円

5.) シルバーカー購入費補助金交付事業

(1) 事業概要

高齢者の歩行の補助としてシルバーカーを購入した場合、購入費の一部を補助し、費用負担の軽減と日常生活の利便を図ることを目的に実施した。

(2) 事業結果

- ・交付決定者 7人(5年度:7人、4年度:2人、3年度:9人、2年度:5人)

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
会費収入	25,000円	45,000円	10,000円	35,000円	37,365円
事業費	25,000円	45,000円	10,000円	35,000円	37,365円

6.) 高齢者交通安全活動推進事業

(1) 事業概要

高齢者の交通事故防止や手口が日々変化している振り込め詐欺、悪質商法被害等から高齢者を守り、安全安心な毎日を過ごしていただくことを目的として講話を実施した。

(2) 事業結果

- ・実施日 令和6年12月2日(月)
- ・会場 吉岡町老人福祉センター
- ・参加人数 46人(5年度:38人、4年度:43人、3年度:43人、2年度:51人)
- ・内容 吉岡交番所長様による防犯、交通安全講話。アトラクションとしてご当地お笑いコンビ ワンクッションによるお笑いライブ。

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
会費収入	6,400円	9,500円	4,886円	9,050円	14,263円
事業費	6,400円	9,500円	4,886円	9,050円	14,263円

7.) 老人福祉センター開放事業

(1) 事業概要

老人福祉センターを開放し、この施設や社協の業務内容のPRを図りながら、地域住民が気軽に参加できる事業を行うことにより、コミュニケーションが図られ、より良い吉岡町を創造して行くことを目的に実施した。

(2) 事業結果

- ・実施日
7月31日(小学生向け習字教室) 参加人数14人
8月5日(小学生向けポスター教室) 参加人数8人
12月19日(一般向けお正月飾りづくり講座) 参加人数12人

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
負担金	0円	0円	0円	27,500円	0円
会費収入	0円	10,000円	20,800円	31,595円	15,000円
事業費	0円	10,000円	20,800円	59,095円	15,000円

8.) 社協×SDGs SDGsでエコ生活 ～『もったいない』を『ありがとう』に～

(1) 事業概要

隔年で行っていた福祉バザーを見直し、令和4年度より、よしおかふるさと祭りと同日に開催。食品ロスやごみを削減して、持続可能な開発目標（SDGs）に貢献するため、各家庭で眠っている食品や日用品等のリユースを展開した。また、老人福祉センターで活動されている「趣味の会」の団体紹介、体験ブースの設置、及びステージ発表を行い、活動のPRをするとともに、社会福祉協議会、地域包括支援センター、老人福祉センター、ボランティアセンター、成年後見支援センター等のPRも併せて行った。

(2) 事業結果

- ・実施日 令和 6 年 1 0 月 1 3 日(日)
- ・会場 吉岡町老人福祉センター
- ・来場者数 1, 1 5 8 人 (5年度：818人)
- ・SDGs寄付協力者 9 6 人 (5年度：93人、4年度：109人)
- ・SDGsお渡し世帯数 2 0 4 世帯 その他、子育て支援団体（こども食堂）へ寄贈
(5年度：195世帯、4年度：148世帯)

	4 年度	5 年度	6 年度
会費収入	23, 757円	33, 636円	129, 648円
事業費	23, 757円	33, 636円	129, 648円

9.) 制服等リユース事業

(1) 事業概要

卒業や成長で不要になった制服、体操着、体育館シューズ等を住民から回収し、それらを必要とする住民に配布することで、子育て家庭への経済的負担の軽減と資源の有効活用を促進を図った。

(2) 事業結果

- ・寄付協力者 3 1 名 (5年度：27名、4年度：42名、3年度：17名)
- ・お渡し世帯数 4 2 世帯 (5年度：47世帯、4年度：41世帯、3年度：19世帯)

	4 年度	5 年度	6 年度
会費収入	4, 940円	0円	8, 360円
事業費	4, 940円	0円	8, 630円

10.) 職員出前講座

(1) 事業概要

地域のふれあい・いきいきサロン会場や介護予防事業会場において、福祉や介護予防について理解を深め地域住民の生活に役立ててもらうことを目的に、職員の持っている知識や特技を生かした講座を行った。

(2) 事業結果

- ・実施会場 1 6 会場 (5年度：10会場、4年度：17会場、3年度：8会場、2年度：9会場)
- ・参加延人数 2 2 6 人 (5年度：150人、4年度：254人、3年度：116人、2年度：104人)

11.) 認知症カフェ事業

(1) 事業概要

認知症の方やその家族、地域住民誰もが気軽に集い、楽しいひと時を過ごせるよう地域のボランティアの協力による「元気になるカフェ」を実施した。また、ボランティア（ささえ隊・もてなし隊）を対象とした交流会、認知症キッズサポーターを対象としたカフェお手伝い体験を実施し、カフェの充実を図った。さらに、認知症の方と家族が医療介護従事者や介護経験者と一緒にゆっくり過ごし、不安や心配事を語り合い理解し合える居場所「22カフェ」を実施した。

(2) 事業結果 ※（ ）内の5:は5年度実績、4:は4年度実績、3:は3年度実績、2:は2年度実績

- ① デイサービス J A げんき喫茶室 毎週木曜日 午前10時から12時まで開設
- ・実施回数 49回 (5: 47回、4: 47回、3: 28回、2: 28回)
 - ・参加延人数 1,018人 (5: 799人、4: 507人、3: 286人、2: 229人)
 - ・ボランティア延人数 202人 (5: 172人、4: 140人、3: 91人、2: 97人)
- ② よしおか ROBAROBA (地域福祉交流施設) 毎週木曜日 午前10時から12時まで開設
- ・実施回数 49回 (5: 47回、4: 47回、3: 28回、2: 28回)
 - ・参加延人数 1,135人 (5: 933人、4: 827人、3: 412人、2: 466人)
 - ・ボランティア延人数 199人 (5: 190人、4: 185人、3: 112人、2: 116人)
- ③ 22カフェ 毎月22日 月1回 午後1時から3時まで開設
- ・実施回数 12回 (5: 12回、4: 12回、3: 9回、2: 6回)
 - ・実施場所 よしおかROBAROBA
 - ・参加延人数 46人 (5: 41人、4: 43人、3: 29人、2: 28人)
 - ・協力者延人数 16人 (5: 21人、4: 18人、3: 12人、2: 5人)
- ④ 元気になるカフェボランティア交流会
- ・実施日 令和7年3月24日
 - ・会場 吉岡町老人福祉センター
 - ・参加人数 16人 (5: 13人、4: 23人、3: 22人)
- ⑤ 夏休み！元気になるカフェ お手伝い体験企画（小学5年生～中学3年生）
- ・実施回数 3回 (5: 3回、4～2: 中止)
 - ・参加延人数 11人 (5: 7人、4～2: 中止)
- ⑥ 元気になるカフェ TEKUTEKU (移動カフェ)
- ・稼働回数 69回 [既存型【JAげんき】49回、出張型11回、貸出型9回]
(5: 68回 [既存型【JAげんき】43回、出張型24回、貸出型1回])

【成果・課題】

移動カフェ車両 TEKUTEKUの出張型として、サロン会場へのPRに加え、町内施設に出向いた。車両の貸出は主に自治会のイベント等、地域交流の場に貸出をした。

今後は地域の認知症サポーター等と連携し、より地域に根差した活動を展開していくことと、活用機会の拡大を図るためにも貸出のさらなる促進が課題である。

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
会費収入	—	245,417円	241,787円	315,046円	314,118円
寄附金収入	—	99,000円	—	—	—
資産取崩収入	164,227円	—	—	—	—
事業費	164,227円	344,417円	241,787円	315,046円	314,118円

12.) 傾聴ボランティア派遣事業

(1) 事業概要

ひとり暮らし高齢者や障がい者、高齢者世帯等の方で、話し相手を希望する方を対象に『聴く』ことで孤独や不安を軽減し充実した日常生活を過ごせるよう支援を行うことを目的に実施した。

(2) 事業結果

年度	利用人数	利用延回数
令和5年度	2人	14回
令和6年度	2人	14回

13.) 移送サービス事業

(1) 事業概要

ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯等の方で、通院や買い物等への交通手段がない方を対象に、積極的に外出する機会を確保し、閉じこもり等にならないように介護予防を行い、在宅生活の継続を目的に移送サービスを実施した。

(2) 事業結果

年度	登録人数	利用人数	利用延回数	利用券販売額
令和2年度	30人	22人	358回	9,000円
令和3年度	49人	33人	415回	0円
令和4年度	53人	29人	349回	0円
令和5年度	53人	24人	289回	0円
令和6年度	52人	22人	235回	141,900円

【感想・反省・課題】

昨年度より月平均利用回数が減少していたが、令和7年1月以降は、より月平均利用回数が減少した。一方、今年度はボランティア募集の効果も反映し新規男性ボランティア数が増えてきた。今後も引き続き、社協だよりやSNS、また、団体の会議やイベント等でもボランティア募集の呼びかけをしていく。

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
前期末支払資金残高	700円	4,100円	0円	25,451円	0円
移送サービス事業収入	107,400円	124,500円	104,700円	86,700円	70,500円
事業費	104,000円	128,600円	78,829円	114,303円	70,500円

14.) 福祉車両貸出事業

(1) 事業概要

高齢又は障がい等により歩行が困難な方で車椅子を必要とする方に、リフト付自動車を貸出した。通院や買い物など日常生活の利便性を図ると共に、行事やレクリエーション等に積極的に参加する機会を確保した。（利用料：1kmあたり10円）

(2) 事業結果

- ・貸出件数 34件（5年度：67件、4年度：38件、3年度：53件、2年度：45件）
- ・走行距離 1,010km

車両	貸出回数	走行距離
ハイゼット	12回	373.0km
アトレー	15回	447.0km
シエンタ	7回	190.0km

【気づいたこと、利用者からの要望等】

- ・月2回以上の利用している方で、燃料費を月末時に一括支払いを希望しており、支払い方法について対応した。

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
前期末支払資金残高					420円
福祉車両貸出事業収入	15,280円	14,992円	11,449円	22,420円	13,420円
事業費	15,280円	14,992円	11,449円	22,420円	13,840円

15.)福祉機器及び器具備品等貸出事業

(1) 事業概要

福祉機器は、高齢者や身体に障がいのある方及び傷病のため自宅にて療養中の方へ貸出し、器具備品は、自治会及び自治会に属する団体や福祉団体又は地域活動やボランティア活動を目的とするグループへ貸出しを行った。

(2) 事業結果

- ・福祉機器 25件 (5年度：26件、4年度：26件、3年度：15件、2年度：15件)
- ・器具備品等 23件 (5年度：13件、4年度：7件、3年度：2件、2年度：7件)

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
会費収入	0円	0円	0円	4,430円	26,840円
事業費	0円	0円	0円	4,430円	26,840円

16.)生活福祉資金貸付事業

(1) 事業概要

県社会福祉協議会が行う貸付事業の申込窓口として、低所得世帯、障がい者世帯及び高齢者世帯からの申込相談に対応した。相談者の経済的自立や生活意欲の助長促進、在宅福祉や社会参加を図り、その世帯の安定した生活を確保することを目的とした。

(2) 事業結果

- ・新規貸付件数 0件
- ・相談延件数（電話問合せ含む） 15件 (5年度：16件、4年度：69件、3年度：156件、2年度：227件)
- ・貸付件数（令和7年3月31日現在）
 - 総合支援資金 2世帯 緊急小口資金 3世帯
 - 福祉資金 1世帯 教育支援資金 2世帯

【経過・感想】

- ・相談件数や申請数は前年度と大きな差はなかった
- ・特例貸付の償還において、償還免除者や償還猶予者については、電話で生活状況の確認をして県社協へ報告をした。今後は生活困窮者自立相談支援事業と連携し、借受人全体へのフォローアップをしていく必要がある。

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
県社協受託金収入	982,000円	636,000円	527,500円	3,369,000円	3,397,000円
会費収入	0円	0円	0円	0円	0円
前年度繰越金		180,962円	55,575円	246,289円	85,319円
事業費	801,038円	761,387円	336,786円	3,529,970円	3,237,260円

3. 日常生活自立支援事業サービス区分

1.)日常生活自立支援事業

(1) 事業概要

基幹社協として、認知症や知的障がい及び精神障がいなどで判断能力が不十分な方が、地域で自立した生活が送れるよう福祉サービスの利用、日常的金銭管理などの支援を行った。

(2) 事業結果

	新規契約件数	契約終了件数	契約件数	利用料助成対象者数
令和2年度	—	—	9人	6人
令和3年度	1人	2人	10人	6人
令和4年度	1人	1人	9人	7人
令和5年度	1人	1人	9人	7人
令和6年度	2人	2人	11人	9人

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
県社協受託金収入	—	1,192,000円	1,163,000円	1,029,000円	900,000円
県社協助成金収入	—	10,375円	13,750円	9,750円	14,875円
町補助金収入	9,625円	10,375円	13,750円	9,750円	14,875円
利用者収入	—	36,850円	38,500円	27,300円	41,650円
雑収入	—	3,960円	0円	0円	0円
事業費	9,625円	1,253,560円	1,229,000円	1,075,800円	971,400円

4. 共同募金配分金事業サービス区分

1.) 一般募金事業（一般募金配分事業）

①新入学児童置き傘贈呈事業

(1) 事業概要

新入学児童に置き傘を贈呈した。

(2) 事業結果

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
明治小学校	117本	117本	114本	97本	95本
駒寄小学校	158本	153本	141本	130本	133本
社協予備		5本			
合 計	275本	275本	255本	227本	228本

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
共同募金配分金収入	290,400円	290,400円	269,280円	260,128円	276,100円
事業費	290,400円	290,400円	269,280円	260,128円	276,100円

②学童クラブ図書事業

(1) 事業概要

学童クラブ6か所において、図書の充実を図った。

(2) 事業結果

子ども向け書籍の購入。

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
共同募金配分金収入	70,655円	32,411円	33,193円	24,245円	23,783円
事業費	70,655円	32,411円	33,193円	24,245円	23,783円

③避難訓練事業

(1) 事業概要

自治会で行われる避難訓練に合わせてボランティア協会の協力の下、炊き出し訓練を実施し、災害発生時に備えると共に防災倉庫内の防災用品の拡充を図り、いざという時に活用できるように、二つ折担架、毛布及び簡易トイレ等を自治会へ寄贈する。

(2) 事業結果

自治会からの要望はなかったが老人福祉センターの防災倉庫内の防災備品の拡充を行った。

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
共同募金配分金収入	132,209円	130,163円	99,880円	0円	55,237円
事業費	132,209円	130,163円	99,880円	0円	55,237円

④無料法律相談事業

(1) 事業概要

昨今の社会情勢に伴い、町民が抱える悩みごと等において、法律に係る解決困難なものが増加している現状を考慮し、町民の皆様が少しでも不安を解消し、安心して生活していただけるよう無料の法律相談を実施する。

(2) 事業結果

- ・開設日 毎月第2木曜日（年12回）
- ・相談時間 午後1時30分～4時の間 1人30分
- ・相談件数 48件（5年度：45件、4年度：35件、3年度：47件、2年度：39件）
- ・相談内訳（複数相談有り）

ア 家族について	7件	ク 人権・法律について	4件
イ 財産について	21件	ケ 老人福祉について	1件
ウ 住宅について	7件	コ 職業・生業について	1件
エ 生計について	2件	サ 近隣トラブルについて	1件
オ 離婚について	3件	シ 健康・保険・衛生について	2件
カ 苦情について	1件	ス その他	9件
キ 事故について	2件	合計	61件

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
共同募金配分金収入	368,390円	368,390円	368,060円	371,910円	373,285円
事業費	368,390円	368,390円	368,060円	371,910円	373,285円

①ふれあい・いきいきサロン推進事業

地域の中で孤独・閉じこもりがちな高齢者、子育て中の親子、障がい者や弱者などを作らないという地域福祉の充実をはかるため、福祉ネットワークが主体となり住民が中心となって小地域を単位としたふれあいの場を設け、自主的・自発的に行う交流事業に活動費の助成、外出支援や交流会を行った。

① 運営・整備補助金交付

令和7年3月末現在

・高齢者サロン	27会場	・子育てサロン	1会場
・共生型（複合型）サロン	0会場		合計28会場

②外出支援

・実施会場 12会場 (5年度：12会場、4年度：10会場、3年度：3会場、2年度：4会場)
・参加人数 183人 (5年度：180人、4年度：155人、3年度：44人、2年度：59人)

③ふれあい・いきいきサロン代表者交流会 ※[]内の5:は5年度実績,4:は4年度実績,3:は3年度実績,2:は2年度実績

- ・実施日 令和7年3月25日（火）
- ・会場 吉岡町老人福祉センター
- ・参加人数 16人（15サロン） [5：23人(22)、4：29人(19)、3：25人(25)、2：24人(24)]
- ・内容 情報交換（交流会）、聴こえの教室（コトブキ補聴器）

	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
共同募金配分金収入	684,336円	568,308円	663,625円	696,458円	730,625円
事業費	684,336円	568,308円	663,625円	696,458円	730,625円

(1) 事業概要

ひとり暮らし高齢者や障がい者に対し、月曜日から金曜日まで（週5回）食事サービスを実施することにより、食生活の安定と健康保持に寄与し、更に対象者の安否確認と地域社会との交流を深めることを目的に実施した。

(2) 利用対象者

概ね65歳以上のひとり暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯等で、安否確認が必要で調理が困難な者とする。

(3) 事業結果 (週5回実施)

年度	利用者数	実施日数	延べ食数	利用券販売額
令和 2 年度	5 2 人	2 4 3 日	5, 6 7 1 食	209, 400円
令和 3 年度	5 5 人	2 4 2 日	6, 9 0 3 食	0円
令和 4 年度	6 7 人	2 4 3 日	8, 9 0 3 食	0円
令和 5 年度	6 0 人	2 4 1 日	7, 9 4 0 食	0円
令和 6 年度	5 2 人	2 4 1 日	5, 9 2 8 食	1, 994, 700円

【**運宮課題等**】

施設入所や亡くなった方が複数人おり、利用人数は前年度に比べ減少した。

社協の配食サービスはボランティアの力なくして運営は成り立たない。ボランティアの声を聴きながら負担が増えないよう対策を考えるとともに、ボランティア増員に力を入れたい。

	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
共同募金配分金収入	733, 274円	1, 205, 627円	955, 321円	1, 145, 277円	1, 371, 029円
負担金収入	1, 701, 300円	2, 070, 900円	2, 457, 000円	2, 382, 000円	1, 778, 400円
事業費	2, 434, 574円	3, 276, 527円	3, 412, 321円	3, 527, 277円	3, 149, 429円

③歳末時期事業

(1) 事業概要

福祉ネットワークの調査から上がってきた、ひとり暮らし高齢者、障がい者、及び高齢者二人世帯を対象とし、年末年始にボランティア協会の協力を得て、地域住民からの声かけと見守りにより、慰労と安否確認を行った。

(2) 事業結果

- ・実施日 令和6年12月29日
- ・対象者数 80人（5年度：79人、4年度：59人、3年度：69人、2年度：66人）
- ・内容 年越しセットの配食

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
共同募金配分金収入	160,991円	157,816円	137,806円	159,521円	181,036円
事業費	160,991円	157,816円	137,806円	159,521円	181,036円

- ・実施日 令和7年1月4日
- ・対象者数 70人（5年度：72人、4年度：55人、3年度：68人、2年度：58人）
- ・内容 非常食セットの配布（新年安否確認）

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
共同募金配分金収入	93,173円	97,164円	97,689円	89,286円	102,917円
事業費	93,173円	97,164円	97,689円	89,286円	102,917円

④歳末ささえ愛年越し食料配布事業

(1) 事業概要

物価高騰により家計への影響が大きいことで生活に困り支援を必要としている世帯に、新たな年を迎える時期に安心して暮らすことが出来るために年越し食料を配布する。生活困窮者や社会的孤立の方に、食料の提供をつうじて支援を必要とする人たちが安心して暮らすことができることを目的に実施した。

(2) 利用対象者

町内に居住し、生活にお困りで支援を必要としている世帯

(3) 事業結果

- ・配布期間 令和6年12月25日・26日・27日
- ・申請世帯 68世帯
- ・配布数 104セット（5年度：90セット、4年度：63セット、3年度：49セット）

【感想・成果】

令和3年度新規事業として実施。令和5年度からコロナ禍の影響による支援から、物価高騰による家計への影響が大きい世帯と対象を変更した。

申請世帯、配布数ともに増加傾向。今後は対象世帯の見直し、検討が必要。

	3年度	4年度	5年度	6年度
共同募金配分金収入	77,491円	71,748円	86,310円	104,440円
事業費	77,491円	71,748円	86,310円	104,440円

⑤情報提供（社協だより発行）

(1) 事業概要

地域住民に広く当協議会事業の周知及び社会福祉に対する啓発を目的に広報を発行した。

(2) 事業結果

- ・発行回数 3回（5年度：3回、4年度：3回、3年度：3回、2年度：3回）
- ・発行部数 27, 201部（5年度：26,769部、4年度：26,220部、3年度：25,540部、2年度：24,890部）

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
共同募金配分金収入	473,492円	502,000円	49,000円	26,208円	546,038円
会費収入			464,687円	530,078円	
事業費	473,492円	502,000円	513,687円	556,286円	546,038円

⑥家族介護者交流事業

(1) 事業概要

家庭で介護をしている介護者を対象に、同じ立場である介護者同士が集い、親睦や介護の悩み、心配事を互いに共有し合い、リフレッシュを図るための交流会を開催した。

(2) 事業結果

①DANDAN（男性介護者から話を伺う会）

- ・実施回数 3回
- ・会場 よしおかROBAROBA
- ・参加人数 9人（5年度：15人）

②らくらく茶話会

- ・実施回数 5回
- ・会場 老人福祉センター
- ・参加人数 28人

③いちご狩りと交流会

- ・実施日 令和7年3月26日
- ・会場 高崎市しずの苺園、老人福祉センター
- ・参加人数 11人（5年度：9人、4年度：8人、3年度：6人、2年度：8人）

【感想・目標】

介護者同士が情報を提供（相続等）し合ったり、介護保険につながらない悩みなども打ち明け、リフレッシュや個々の課題の解決に向かうような、『DANDAN』や令和6年度から定期的に話せる場の要望から開始した『らくらく茶話会』になっている。

また、イベントは年1回で実施しているが、いちご狩りに限らず別の内容も意見を聞きながら検討するとともに、気軽に集まれて話ができる定期的な場を設けたので、新しい介護者の方々が増えるよう周知・徹底を強化する。

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
共同募金配分金収入	24,820円	19,823円	41,904円	47,201円	45,571円
負担金収入	4,000円	3,000円	5,800円	6,700円	5,500円
事業費	28,820円	22,823円	47,704円	53,901円	51,071円

5. 受託事業サービス区分

1.) 敬老福祉大会

(1) 事業概要

町内の高齢者を一堂に招待し、慰安激励すると共に、結婚50周年を迎えられたご夫婦に金婚祝を実施した。また、4人以上の子供を養育し、社会的に貢献する親を表彰した。

(2) 事業結果

- ・実施日 令和6年9月16日(月)「敬老の日」
- ・会場 吉岡町文化センター
- ・参加人数 表彰者・招待者 328人

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
町受託金収入	146,139円	501,653円	845,986円	835,523円	772,199円
事業費	146,139円	501,653円	845,986円	835,523円	772,199円

2.)ひとり暮らし保養事業

(1) 事業概要

ひとり暮らし高齢者を孤独感から解放し、当事者同士の交流を深め、お互い助け合って地域で生活できるよう支援することを目的とし、実施した。

(2) 事業結果

- ・実施日 令和6年11月7日(木)～8日(金)【一泊二日】
- ・参加者数 70人 (5年度：88人、4年度：76人、3年度：中止、2年度：中止)
- ・内容 万座方面【浅間酒造観光センター・果樹の里原田農園 宿泊先：日進館】

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
町受託金収入	0円	0円	1,056,557円	592,544円	1,320,771円
負担金収入	0円	0円	640,000円	324,000円	627,000円
事業費	0円	0円	1,696,557円	916,544円	1,947,771円

3.)手話奉仕員養成研修事業（基礎課程）

(1) 事業概要

障害者福祉の基礎、聴覚障害者活動及び関連する福祉制度等についての知識と日常会話を行うのに必要な手話表現技術を習得した手話奉仕員を養成するため、厚生労働省の手話奉仕員養成講座(新)基礎課程カリキュラムに基づき講座を開催する。

(2) 事業結果

- ・実施回数 26回
- ・修了者 5人 (5年度：7人、4年度：10人、3年度：11人、2年度：中止)

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
町受託金収入	—	231,498円	331,461円	304,534円	326,380円
事業費	—	231,498円	331,461円	304,534円	326,380円

4.)障がい者のつどい事業

(1) 事業概要

町内に在住する障がいのある方もない方もが、一緒になって音楽やアートを通じて交流を図ることを目的として、「新春コンサート」及び「みんなのアート展」を実施した。

(2) 事業結果

①新春コンサート2025 ～音楽っていいな～

- ・実施日 令和7年1月19日(日)
- ・会場 吉岡町文化センターホール
- ・出演団体 4団体
- ・協力団体 6事業所
- ・参加人数 334人 (5年度：494人、2年度～4年度：中止)

②みんなのアート展

- ・実施日 令和7年1月28日(火)～2月9日(日)
- ・会場 吉岡町文化センター2階ギャラリー
- ・協力団体 町内障害者の施設や事業所等・町内小中学校 18ヶ所
- ・作品数 約243点 (5年度：230点、4年度：283点)
- ・来場者数 506人 (5年度：392人、4年度：422人)

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
町受託金収入	0円	0円	34,000円	247,145円	254,977円
会費収入	0円	0円	17,100円	0円	0円
事業費	0円	0円	51,100円	247,145円	254,977円

5.)介護予防・日常生活支援総合事業

①一般介護予防事業

(1) 事業概要

65歳以上の方及びその支援のための活動に係わる方を対象に、介護状態にならないように、また、介護状態になった場合でも、それ以上に悪化させないための介護予防事業を実施した。

(2) 事業結果

①介護予防・普及啓発事業

「社協だより」「社協ホームページ」に事業の開催について掲載した。また、各種福祉団体等にも介護予防事業の普及啓発を行った。

◎老人福祉センターにおける介護予防教室

町内の65歳以上の全ての方を対象とし、専門職種（健康運動指導士）による運動教室を継続的に開催し、日常生活の安定と健康維持、高齢者同士の交流活動を目的に実施した。

※感染症等を考慮し、密を避けるため、人数制限を設けたり、2部制にしたり、対策を行った。

	はつらつ体操	げんきアップ体操	ニコニコ体操
実施回数	24回	24回	—
	5(25回)	5(25回)	5(1回)
	4(24回)	4(24回)	4(1回)
	3(24回)	3(24回)	—
	2(19回)	2(19回)	—
参加延人数	631人	203人	—
	5(726人)	5(313人)	5(20人)
	4(539人)	4(255人)	4(20人)
	3(519人)	3(254人)	—
	2(464人)	2(247人)	—

※（ ）協の、5は、5年度実績4は、4年度実績、3は、3年度実績、2は、2年度実績

◎町民対象とした介護予防事業

介護予防教室「ぴんぴんげんき教室」

- ・実施日 令和6年10月7日(月)、21日(月)、28日(月)、11月11日(月)、18日(月)、25日(月)
- ・会場 老人福祉センター
- ・参加人数 各20人前後
- ・内容 体力測定・簡単筋力トレ、お口のチェック体操、栄養、認知症予防

②地域介護予防活動支援事業

◎地域筋力トレーニング（※鬼石モデル筋力トレーニング実施）

町内 16ヶ所

◎社協職員による介護予防 出前講座

- ・実施回数 14回（5年度：10回、4年度：11回、3年度：5回、2年度：7回）
- ・参加延人数 226人（5年度：150人、4年度：156人、3年度：55人、2年度：89人）

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
町受託金収入	212,971円	265,932円	273,050円	248,850円	249,933円
事業費	212,971円	265,932円	273,050円	248,850円	249,933円

6.) 地域支援事業・包括的支援・任意事業

① 生活支援体制整備事業

(1) 事業概要

高齢者が住み慣れた地域で生活を継続できるよう、生活支援コーディネーターと協議体を通じて、地域の支えによる生活支援・介護予防を広げ、地域で多様な主体によるサービス提供を推進する。

地域の様々な課題を見つけ、何ができるかを話し合う第2層の協議体【わたげ隊(明治地区)】・【ふれあい隊(駒寄地区)】を定期的実施し、新しい居場所『たんぽぽ広場』・『駒ちゃん家』の自主的な運営の確立とともに、地域住民による地域に根差した支え合いの仕組みづくりを進めるよう実施した。

(2) 事業結果

・協議体活動

① 会 議

わたげ隊 (明治地区協議体)	メンバー	10人	開催回数	10回
ふれあい隊(駒寄地区協議体)	メンバー	9人	開催回数	8回

② 新しい居場所

たんぽぽ広場(わたげ隊)

設置日 令和6年2月14日(水)
 開催日 毎月第2・4水曜日 10時～12時 北下東部住民センター(集会所)
 開催回数 22回 延参加人数 380人(内子ども54人)
 [5年度 4回 延参加人数 106人(内子ども18人)]

駒ちゃん家(ふれあい隊)

設置日 令和5年12月9日(土)
 開催日 毎月第2土曜日 10時～12時 大久保寺上上中町集落センター
 ※1月は出張で漆原文化センター
 開催回数 12回 延参加人数 243人(内子ども8人)
 [5年度 4回 延参加人数 113人(内子ども13人)]

・啓発活動

- ① 広報誌『わたげ通信』(明治) 第3号・第4号 明治地区毎戸配布
『ふれあい通信』(駒寄) 第3号 駒寄地区毎戸配布
- ② 社協だより掲載「生活支援コーディネーターのつぶやき」 7月号、2月号
- ③ 社会福祉協議会 インスタグラム投稿
- ④ 10月13日(日) ふるさと祭りSDGsとエコ生活ブースの設置及びアンケート調査

・生活支援コーディネーター関係

- ① 設置人数 社会福祉協議会 2名(他 社協1名、包括1名)
- ② 吉岡町協議体連絡会
令和7年3月19日(水)
アドバイザー：NPO法人じゃんけんぽん 井上謙一氏
参加者：町長、健康福祉課長、介護高齢室長、介護高齢室担当
わたげ隊 8名、ふれあい隊 7名、オブザーバー 7名
社協事務局長、SC 2名、包括 1名
- ③ 生活支援コーディネーター中部ブロック情報交換会・幹事会 9回
- ④ その他
地域ケア会議 3回、研修 1回、視察受入 1回、他市町村・企業意見交換 1回

【感想・目標】

新しい居場所が1年経過し、各協議体で居場所の運営についてアイデアや課題も見つかり、開催内容や担い手の確保などについて話し合われ、居場所事態は定着しつつある。

居場所の継続や地域へ広めるための話し合いもだが、協議体の目的である地域課題の整理及び地域資源の開発の話し合いの部分が6年度においてもできなかった現状もあるため、協議体と居場所の在り方について引き続き確立できるように、メンバーをはじめ町等も含め協議していく。

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
町受託金収入	830,029円	638,171円	981,780円	928,076円	1,022,848円
事業費	830,029円	638,171円	981,780円	928,076円	1,022,848円

②認知症サポーター養成講座

- (1) 事業概要
認知症についての正しい知識を学び、地域で認知症の人を見守ることで、認知症の人やその家族が地域で安心して暮らしていける地域づくりを目指すことを目的に地域住民や小学校4年生等を対象に講座・啓発を実施した。
- (2) 事業結果
- ・養成講座
実施回数 6回 (5年度: 4回、4年度: 2回、3年度: 5回、2年度: 2回)
参加延人数 388人(5年度: 377人、4年度: 229人、3年度: 369人、2年度: 156人)
 - ・ステッカー配布 個人: 11人 企業: 2社
 - ・ステップアップ研修
視察研修: 令和6年12月2日(火) 宇都宮市『オレンジ・サロン 石蔵カフェ』 参加人数 14人

【感想・反省等】
一般町民向けの講座を吉岡町文化センターホールで開催し、多くの方に受講していただくことができた。今後も地域に認知症の理解者、地域での見守り等の協力者を増やし、地域支援体制の強化に繋げたい。

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
町受託金収入	82,790円	102,555円	138,893円	174,621円	222,903円
寄附金収入	0円	20,000円	20,000円	20,000円	
事業費	82,790円	122,555円	158,893円	194,621円	222,903円

7.)地域福祉交流施設（よしおかROBAROBA）管理事業

- (1) 事業概要
地域住民の交流の促進及び福祉の増進を図るため設置された施設の貸館の受付及び維持管理（清掃）業務を行った。
- (2) 利用状況 ※（ ）内の5:は5年度実績、4:は4年度実績、3:は3年度実績、2:は2年度実績

	回数	人数	
元気になるカフェ	49回	1,340人	(5:48回 1,123人、4:47回 958人、3:28回 529人)
22カフェ	12回	88人	(5:12回 89人、4:12回 87人、3: 8回 52人)
ハートボラカフェ	12回	123人	(5:12回 221人、4:12回 118人、3: 8回 149人)
学習支援	47回	419人	(5:48回 464人、4:47回 435人、3:25回 129人)
ロバロバ溝祭	9回	59人	}
町リモート型学習支援の初回面談	2回	12人	
町高齢者スマホ教室	1回	13人	
家族介護者交流事業	3回	13人	
薫英会トバタ農の営みカフェ	1回	4人	
ケアマネcafé	2回	22人	(5:17回 205人、4:13回 157人、3: 8回 50人)
計	138回	2,093人	
	5(137回)	5(2,102人)	
	4(131回)	4(1,755人)	
	3(77回)	3(909人)	

	3年度	4年度	5年度	6年度
町受託金収入	112,864円	137,589円	141,219円	167,878円
事業費	112,864円	137,589円	141,219円	167,878円

8.) ボランティアセンター事業

(1) 事業概要

地域共生社会の実現に向け、町民に分かりやすく情報を発信し、誰もが役割や生き甲斐、尊厳をもって活躍できる場とし、相談や受付、マッチング等を行う。地域福祉活動参加へのきっかけづくりに新たなボランティア活動の発掘、人材確保や担い手育成等の継続を促し、主体的・自主的に地域や社会のために活動できるボランティア支援を進める。ボランティア活動の周知と理解を深めるための講座や講習、交流会や体験事業の開催を行っていく。ボランティア活動が一層活発に展開され、ボランティアが自分らしくいきいきと楽しみながら活躍できるよう、ボランティアポイント事業を通じて高齢者施策の推進やボランティア団体の支援、全世代参加型の地域づくりをねらいとし、ボランティア活動の魅力を伝え、さらなるボランティア充実を図っていく。

(2) 実施結果

① ボランティアセンター登録状況

- ・ 町内ボランティア団体 22団体 延人数655人 (5: 18団体 557人、4: 16団体 555人)
- ・ 個人ボランティア延べ人数

事業名	延登録者数	事業名	延登録者数
移送	18人	22カフェ	3人
配食	29人	子どもボランティア (18歳未満)	3人
傾聴	11人	その他災害等	5人
元気になるカフェ	36人		
合計		105人	

② ボランティア活動保険加入状況

- ・ 加入者数 基本プラン 498人 (5年度: 527人、4年度: 489人、3年度: 167人、2年度: 185人)
天災プラン 5人

③ ハートボラカフェ (ボランティアのためのカフェ) 毎月第2水曜日

- ・ 参加延人数 123人 (5年度: 201人、4年度: 118人)

④ ボランティア体験講座

(1) 夏休み小学生向け習字教室補助体験ボランティア

実施日 令和6年7月31日(水) 参加者: 2人

(2) 夏休み小学生向けポスター教室補助体験ボランティア

実施日 令和6年8月5日(月) 参加者: 2人

(3) 夏休み車椅子・高齢者疑似体験

実施日 令和6年8月19日(月) 参加者: 3人

⑤ 災害後援会及びボランティアセンター説明会

新規ボランティアの人材発掘の一環として、渋川広域消防職員を講師に招き、関心の高い災害の講演会を開催し、講演をきっかけに吉岡町ボランティアセンターや町内のボランティア活動を紹介し、ボランティアを始めるきっかけづくりを行った。また、吉岡町ボランティア協会にも依頼して炊出し訓練も行った。

実施日 令和7年2月8日(土) 10:00~12:00 参加者: 46人

⑥ 福祉教育に関すること

明治・駒寄小学校 (車椅子に関する講話) 4年生対象

実施日 令和6年5月16日(木) 【駒寄小学校】

実施日 令和6年11月19日(火) 【明治小学校】

⑦ボランティアポイント事業

・ボランティアポイント登録者加入状況

年齢区分	登録区分	登録者数
子どもボランティア	お守り	299人
	カード(再発行者)	1人
成人ボランティア	アプリ	269人
	カード	170人
合 計		739人

・ボランティアポイント付与済者の状況

ポイント区分	交換区分	年齢区分	交換ポイント数累計(P)	
			ポイント付与人数	交付金・景品交換金額
1,000P～4,000P ※千ポイント未満切捨て	QUOカード	子ども	20人	28,000P
		成人	124人	186,000P
4,100P～8,000P	交付金	成人	44人	269,000P
合 計			186人	483,000P

・吉岡中学校ボランティアポイント登録支援臨時窓口

・実施日 令和6年5月22日・23日の2日間 (13:25～13:40) 新規登録人数 77人

	3年度	4年度	5年度	6年度
事業費	343,868円	743,664円	2,220,741円	1,061,975円

9.)精神保健傾聴事業：心の休憩所～tsubomi～

(1) 事業概要

不登校やひきこもりのため、心に不安を抱え、学校や社会、外へ出ていくことが困難な当事者とその家族に対して、不登校・ひきこもりサポートコーディネーターによる傾聴セラピーの場を設け、抱える不安に寄り添いながら不安軽減を図り、ひとりひとりの安心できる外の世界、集いの場となることを目的に実施した。

(2) 事業結果

○傾聴セラピー相談延件数 18件(内訳:当事者10人 家族8人)

○つどいの会 (未実施)

	4年度	5年度	6年度
町受託金収入	66,883円	65,366円	74,828円
事業費	66,883円	65,366円	74,828円

6. 善意銀行貸付事業サービス区分

(1) 事業概要

低所得世帯の一時的な生活費や医療費等の生活資金の支出困難者に対して、必要な資金の貸付けを行い、低所得世帯の更生と福祉の増進を図ることを目的とし、事業を実施した。

(2) 事業結果

・貸 付 1件 (5年度:0件) 200,000円
 ・援護費 行旅人 0件 (5年度:1件) 0円
 ・火災見舞金援護費 1件 (5年度:1件) 20,000円

7. 退職手当積立金事業サービス区分

(1) 事業概要

全国社会福祉団体職員退職手当基金制度に退職積立金を行う。

(2) 事業結果

- ・加入職員数 : 15人
- ・掛金合計 : 55,039,770円(令和7年3月31日現在)

8. 老人福祉センター指定管理事業サービス区分

(1) 事業概要

平成18年4月から町の指定管理を受け、地域の高齢者の健康の増進、教養の向上及び高齢者の外出場所の確保や閉じこもり生活からの解放、高齢者同士の仲間づくり、高齢者の楽しみや生きがいをづくりを目的として、行こう！いこいの家八幡(自主事業)を実施した。

(2) 事業結果

・年間利用状況

年度	年間利用者数	年間開所日数	一日平均	利用料	備考
令和2年度	10,950人 (5,442人)	265日 (208日)	41.3人 (26.1人)	1,800円	年間 (4月、5月休館)
令和3年度	12,458人 (7,404人)	268日 (245日)	46.4人 (30.2人)	2,600円	年間
令和4年度	13,856人 (7,329人)	277日 (224日)	50.0人 (32.7人)	8,800円	年間
令和5年度	15,113人 (7,685人)	280日 (245日)	53.9人 (31.3人)	8,800円	年間
令和6年度	16,007人 (7,769人)	282日 (249日)	56.7人 (31.2人)	9,200円	年間

()内は入浴利用者数

①行こう！いこいの家八幡(自主事業)

高齢者同士の仲間づくり、高齢者の楽しみや生きがいをづくりとなることを目的として講演、教室、趣味の会を実施した。

・お話しの会

実施日時	内容	実施回数	延参加人数
毎月第3木曜日11:00～	わらべの会による読み聞かせ	12回	106人

・自主事業

実施日時	内容	参加人数
10月30日(水) 10:30～	ヨガ教室	11人
12月19日(木) 10:30～	正月飾り作り	12人
1月29日(木) 10:30～	やさしいヨガ教室	17人
2月19日(水) 10:30～	けん玉教室	16人
3月11日(火) 10:30～	パドル体操	12人

・趣味の会 14ヶ所

実施日時	内容	実施回数	延参加人数
毎週木曜日 10：00～11：30	つるし飾り作り	33回	231人
4月～10月まで第1金曜日 11月～3月第1・3金曜日 13：30～15：30	編み物	16回	87人
毎月第2・4木曜日 13：30～15：30	かんたん絵画	23回	222人
毎月第1・3火曜日 10：00～11：30	フラダンス	26回	260人
毎月第1・3土曜日 10：00～12：00	踊り	21回	113人
毎月第1水曜日 10：00～11：30	茶道	12回	189人
毎月第2・4水曜日 13：30～	大正琴	14回	61人
毎週金曜日 9：30～10：30	鬼石式筋トレ	49回	337人
毎日 14：00～	ラジオ体操	245回	1,687人
毎月第1・3・5木曜日 13：30～15：30	れんぼ（ちぎり絵）	26回	140人
毎月第2木曜日 9：30～12：00	ビーズの会	11回	54人
毎月第2・4水曜日 10：00～12：00	吹矢	9回	44人

【現状・反省・今後の意向】

本年度に関しては、年度中頃にチラシを新しく更新し、町内へ毎戸配布を行った結果、多くの新規利用者が増加した。今後は新規利用者増加への取り組みは継続し、現在利用している利用者も楽しめるイベント等を計画し実施していきたい。

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
前期末支払資金残高	2,140,892円	2,149,627円	1,756,792円	2,733,721円	1,979,594円
町受託金収入	21,005,000円	21,330,000円	20,428,000円	20,918,000円	19,793,799円
利用料等収入	875,076円	306,767円	285,472円	299,772円	302,372円
事業費	21,871,341円	22,029,602円	19,736,543円	21,971,899円	22,075,765円

9. 学童クラブ管理事業サービス区分

1.) 学童クラブ指定管理事業

(1) 事業概要

平成23年4月以降、町から指定管理を受け、学童クラブ6箇所の運営管理を子ども子育て支援新制度を遵守し、放課後児童の健康管理、安全確保、情緒の安定に努め、保護者が安心して預けられる環境整備を行い、家庭と学校との連携を図りつつ保護者の意見が反映されるよう運営に努めた。

(2) 事業結果(令和6年4月～令和7年3月) ※()脇の5は5年度実績、4は4年度実績、3は3年度実績、2は2年度実績

明治小学校区

学童クラブ名	4月入所状況		年間開所日数	年間利用児童数	一日平均
	登録児童数	待機児童数			
明治学童クラブ (定員70人) ※1	67人	0人	243日	4,793人	20人
			5(234日)	5(6,032人)	5(26人)
			4(284日)	4(5,005人)	4(18人)
			3(292日)	3(7,652人)	3(26人)
			2(275日)	2(6,505人)	2(24人)
			230日	4,246人	18人
			5(225日)	5(5,812人)	5(26人)
			4(233日)	4(4,411人)	4(19人)
			3(240日)	3(7,014人)	3(29人)
			2(230日)	2(6,377人)	2(28人)
明治第2学童クラブ 榛名 (定員80人) ※1 【旧明治第2学童 定員15人】	79人	0人	243日	6,831人	28人
			5(243日)	5(6,450人)	5(27人)
			4(241日)	4(6,342人)	4(26人)
			3(240日)	3(3,441人)	3(14人)
			2(236日)	2(3,072人)	2(13人)
			237日	5,380人	23人
明治第2学童クラブ 赤城 (定員80人) ※1 【旧中央学童 定員60人】	76人	0人	5(239日)	5(4,639人)	5(19人)
			4(238日)	4(6,054人)	4(25人)
			282日	6,982人	25人
			5(286日)	5(5,919人)	5(21人)
			4(288日)	4(6,347人)	4(22人)
			3(238日)	3(5,722人)	3(24人)
			2(233日)	2(5,456人)	2(23人)
			239日	7,088人	30人
			5(240日)	5(6,371人)	5(27人)
			4(240日)	4(6,245人)	4(26人)
合 計	222人	0人	3(235日)	3(5,839人)	3(24人)
			2(229日)	2(5,023人)	2(22人)
			1,474日	35,320人	143人
			5(1,467日)	5(35,223人)	5(145人)
			4(1,524日)	4(34,404人)	4(136人)
			3(1,245日)	3(29,668人)	3(117人)
			2(1,203日)	2(26,433人)	2(110人)
			4(0人)		
			3(9人)		
			2(156人)		
			2(13人)		

駒寄小学校区

学童クラブ名	4月入所状況		年間開所日数	年間利用児童数	一日平均
	登録児童数	待機児童数			
駒寄第1学童クラブ (定員85人) ※1	86人	0人	254日	8,388人	33人
			5(287日)	5(7,839人)	5(27人)
			4(254日)	4(7,443人)	4(29人)
			3(254日)	3(7,206人)	3(28人)
			2(240日)	2(5,966人)	2(25人)
			238日	7,362人	31人
			5(238日)	5(7,223人)	5(30人)
			4(228日)	4(6,295人)	4(28人)
			3(224日)	3(6,183人)	3(27人)
			2(224日)	2(6,183人)	2(27人)
駒寄第2学童クラブ (定員85人) ※1	84人	0人	241日	8,115人	34人
			5(249日)	5(9,276人)	5(37人)
			4(241日)	4(7,945人)	4(33人)
			3(229日)	3(7,691人)	3(33人)
			2(229日)	2(7,691人)	2(33人)
			237日	7,979人	34人
			5(208日)	5(7,189人)	5(35人)
			4(204日)	4(6,209人)	4(30人)
			3(200日)	3(6,891人)	3(34人)
			2(200日)	2(6,891人)	2(34人)
駒寄第3学童クラブ (定員105人) ※1	102人	0人	249日	8,631人	35人
			5(254日)	5(9,211人)	5(36人)
			4(254日)	4(7,306人)	4(29人)
			3(254日)	3(7,535人)	3(29人)
			2(254日)	2(7,535人)	2(29人)
			227日	7,395人	33人
			5(230日)	5(8,391人)	5(36人)
			4(292日)	4(6,486人)	4(27人)
			3(233日)	3(6,333人)	3(27人)
			2(233日)	2(6,333人)	2(27人)
合 計	272人	0人	1,446日	47,870人	199人
	5(276人)	5(2人)	5(1,466日)	5(49,129人)	5(202人)
	4(247人)	4(2人)	4(1,417日)	4(41,684人)	4(177人)
	3(235人)	3(0人)	3(1,394日)	3(41,839人)	3(179人)
	2(235人)	2(24人)	2(1,342日)	2(34,709人)	2(175人)

※1（支援単位） 「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」により1支援単位を構成する児童の数（集団の規模）は、概ね40人以下となっているため2班に班別し、上・下段で表記。

注：平成27年度から子ども子育て支援新制度により定員基準が概ね40人となった。それ以前は70人。

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
町受託金収入	20,562,687円	21,736,170円	23,354,592円	20,502,315円	27,727,896円
学童保育料収入	21,197,000円	33,118,000円	37,044,500円	40,595,500円	39,917,000円
その他収入					47,400円
事業費	41,759,687円	54,854,170円	60,399,092円	61,097,815円	67,692,296円

I. 社会福祉事業 ii. 介護保険事業拠点区分

1. 介護保険事業サービス区分

1.) 居宅介護サービス

(1) 事業概要

ホームヘルパーが障がいのある方の居宅に訪問し、入浴、排泄及び食事等の介護、調理、洗濯、掃除等の家事を行う、障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス。

(2) 事業結果

障がい者 訪問介護集計表

年 度	人 数	訪問回数	利用時間	居宅介護給付費
令和2年度	8人	956回	1,030.5h	1,931,110円
令和3年度	7人	945回	975.5h	1,974,670円
令和4年度	8人	1,063回	1,089.0h	2,280,980円
令和5年度	8人	1,052回	1,103.5h	2,314,490円
令和6年度	7人	1,091回	1,037.5h	2,318,265円

2.) 訪問介護事業

(1) 事業概要

ホームヘルパーが利用者の居宅に訪問し、入浴、排泄及び食事等の介護、調理、洗濯、掃除等の家事を行う、介護保険法に基づくサービス。

(2) 事業結果

訪問介護集計表

年 度	人 数	介護総時間	身体介護	生活援助	身体生活	報酬総額
令和2年度	374人	3,912.25h	483.00h	2,324.50h	1,104.75h	12,082,391円
令和3年度	497人	4,835.75h	803.00h	2,486.75h	1,546.00h	15,426,367円
令和4年度	466人	4,063.25h	559.50h	2,461.25h	1,042.50h	12,675,417円
令和5年度	419人	3,719.25h	564.00h	2,307.75h	847.50h	11,822,800円
令和6年度	363人	3,783.75h	498.50h	2,225.25h	1,060.00h	12,053,323円

介護予防・日常生活支援総合事業集計表

年 度	人 数	訪問時間	報酬総額
令和2年度	244人	1,521.00h	5,016,488円
令和3年度	225人	1,291.00h	4,265,742円
令和4年度	236人	1,277.00h	4,277,260円
令和5年度	240人	1,255.00h	4,297,703円
令和6年度	268人	1,330.50h	4,673,303円

3.) 吉岡町移動支援事業

(1) 事業概要

ホームヘルパーが居宅に訪問し、屋外での移動に困難がある障がい者に対して、外出のための支援を行う、吉岡町が実施主体の事業。

(2) 事業結果

移動支援事業集計表

年 度	人 数	訪問時間	町負担額
令和2年度	1人	26.0h	119,600円
令和3年度	2人	32.5h	125,500円
令和4年度	1人	20.5h	59,800円
令和5年度	2人	28.0h	69,100円
令和6年度	3人	58.0h	131,600円

【感想・反省】

・訪問介護報酬は、数年前から利用者数と訪問時間数の減少により減収傾向にある。令和6年の介護保険法の改正により、訪問介護報酬が減額され、更に経営が厳しくなった。訪問介護員の人材確保と利用者数と利用時間数の増加が課題である。

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
前期末資金残高	898,393円	229,603円	1,163,781円	888,735円	1,146,511円
事業活動による収入	19,149,589円	21,792,279円	19,293,457円	18,504,093円	19,179,751円
積立資産取崩収入	520,000円	0円	650,000円	2,390,000円	2,612,000円
補助金収入	300,000円	0円	0円	118,000円	50,000円
総事業費	20,638,379円	20,858,101円	20,218,503円	20,754,317円	21,814,416円

Ⅱ. 公益事業 i. 生活困窮者自立相談支援事業拠点区分

1. 生活困窮者自立相談支援事業サービス区分

(1) 事業概要

平成28年、県社協からの委託事業として、県内8町村社協に相談支援員が配置された。

生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため、生活困窮者に対し、自立相談支援事業の実施やその他の支援を実施した。また、失業等に伴う収入の減少による住居確保給付金の制度利用の相談・申請窓口となった。

(2) 事業結果

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
相談件数	220	213	127	187	192
支援件数	121	123	88	199	227
申込件数	74	68	16	14	32
支援調整会議	0	3	0	7	0
ケース会議	0	0	0	0	0
プラン策定（再プラン含む）	0	0	10	13	15
継続支援	13	10	16	6	72

【気づいたこと等】

相談対象者が幅広いとともに各世帯の課題も金銭面に限らず、閉じこもりや家族関係も踏まえた相談が多くあった。60代の相談が最も多く、就労をはじめ、年金受給開始前の生活費問題が主であった。

住宅確保給付金の相談については、給付金の申請よりも、安い物件への転居を希望するが転居費がなく仕方なく生活費を圧迫しながらも住み続ける方も多い。令和7年度から転居費についても給付対象となるため相談や利用者が増える可能性がある。

◎住居確保給付金申請 ※（ ）内の5:は5年度実績、4:は4年度実績、3:は3年度実績、2:は2年度実績

- ・相談対応件数 39件（5:57件、4:92件、3:354件、2:471件）
- ・給付申請者数 1件（5:3件、4:6件、3:18件、2:24件）
- ・給付金額 92,100円（5:325,900円、4:1,565,200円、3:7,528,100円、2:4,250,400円）

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
県社協受託金収入	6,132,375円	4,866,375円	4,551,000円	4,551,000円	4,551,000円
事業費	6,132,375円	4,866,375円	4,551,000円	4,551,000円	4,551,000円

Ⅱ. 公益事業 ii. 成年後見制度事業拠点区分

1. 成年後見制度事業サービス区分

(1) 事業概要

認知症、知的障害、その他の精神上の障害により、物事を判断する能力が不十分な人の権利を守り、安心して暮らしていけるよう、関係機関との連携を強化し、成年後見制度の利用を促進し、町民の権利支援をすることを目的とし、町から委託され設置している。

中核機関として「相談支援事業」、「普及啓発事業」、「利用促進事業」、「関係機関との連携」、「後見人等支援事業」を行う。

(2) 事業結果

①相談支援事業 ※[]は、初回相談件数、()内の5:は5年度実績、4:は4年度実績、3:は3年度実績

・相談延件数 87件 [21件] (5:140件 [22件]、4:65件 [11件]、3:[13件])

相談内容延件数 ()は初回相談 (重複あり)

相談内容	法定後見	任意後見	身元保証	相談・遺言	※その他	計
R3年度	10件 (7件)	3件 (3件)	0件 (0件)	1件 (1件)	3件 (3件)	17件 (14件)
R4年度	52件 (9件)	2件 (1件)	26件 (2件)	7件 (1件)	11件 (3件)	98件 (16件)
R5年度	52件 (20件)	2件 (4件)	26件 (0件)	7件 (3件)	11件 (2件)	98件 (29件)
R6年度	78件 (20件)	7件 (3件)	16件 (2件)	7件 (6件)	14件 (6件)	122件 (37件)

※その他・・・日常生活自立支援事業やNPO法人等による金銭管理事業

- ・専門職相談(R6年度より開始) 4回(5ケース)
- ・個別ケース会議 0回
- ・相談支援機関主催のケース会議への参加 2回

②普及啓発事業

- ・『成年後見制度について』 参加者数 26人

③利用促進事業

- ・申立て手続き支援件数 3件
- ・町長申立てにつないだ件数 1件(高齢者)

④関係機関との連携

- ・吉岡町成年後見制度利用促進・連携協議会 開催回数 2回

	3年度	4年度	5年度	6年度
町受託金収入	74,783円	135,498円	296,876円	181,942円
県社協受託金収入	0円	0円	30,900円	0円
事業費	74,783円	135,498円	327,776円	181,942円

Ⅱ. 公益事業 iii. 地域包括支援センター事業拠点区分

1. 地域包括支援センター事業サービス区分

(1) 事業概要

高齢者の心身の健康の維持及び生活の安定の為に必要な支援を行うことにより、保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的とし、町から委託され設置している。医療・福祉の専門職がチームで業務を行っている。

(2) 事業結果 ※()協の5は5年度実績、4は4年度実績、3は3年度実績、2は2年度実績

①総合相談支援業務

・新規相談件数	181件	5(174件)	4(159件)	3(177件)	2(150件)
・総合相談延件数	2,754件	5(3,217件)	4(2,606件)	3(2,972件)	2(3,470件)
・実態把握訪問件数	50件	5(82件)	4(40件)	3(94件)	2(57件)

他のすべての業務の入り口であり、地域包括支援センター事業実施のための基盤的役割を果たすものである。地域における高齢化が更に進む中において介護予防や介護に関するニーズは多岐に渡り、またその相談件数も毎年相当数に上っている。そのような個々の相談を始め、支援を必要とする人の発見や地域課題・ニーズ把握のために実施する実態把握（アウトリーチ活動）を通して、高齢者・認知症の総合相談窓口としての機能を担うことができた。

②権利擁護業務

・高齢者虐待相談件数	0件	5(2件)	4(2件)	3(1件)	2(8件)
・成年後見相談件数	12件	5(20件)	4(18件)	3(9件)	2(16件)
・消費者被害相談件数	5件	5(6件)	4(7件)	3(2件)	2(2件)

人権・権利擁護を目的として積極的介入支援をおこない、自己決定に基づく契約が十分にできない人の権利をまもることである。成年後見相談件数は昨年度に比べ若干減少傾向であるが、それは社協内に設置されている「成年後見支援センター」の周知が進んでいることも理由として考えられる。高齢者虐待の相談件数については0件であったが、昨年度からの継続案件について町や関係機関との連携を図った。また高齢者虐待や消費者被害防止についての周知に努めた。

③包括的・継続的ケアマネジメント業務

・ケアマネ支援件数	148件	5(200件)	4(205件)	3(178件)	2(103件)
・ケアマネ情報交換会	2回	5(2回)	4(1回)	3(1回)	2(1回)
・ケアマネcaféよしおか（町内／町内外居宅介護支援事業所）	2回	5(1回)	4(2回)		
・地域ケア会議（自立）	2回	5(1回)	4(2回)	3(1回)	2(2回)
・地域ケア会議（個別）	3回	5(5回)	4(4回)	3(4回)	2(3回)
・地域ケア会議（地域課題を考える）	1回	5(1回)	4(1回)		
・社会福祉協議会 地域包括支援センター情報交換会	3回	5(2回)	4(2回)		

介護保険制度の理念である自立支援・利用者本人本位・法令遵守し、介護支援計画書作成に必要な知識と技術を向上させ、生活課題を有する方々が必要な介護保険サービス・社会資源と結びつくよう関係機関と連携した。ケアマネジャーの資質向上を図るため研修会を開催した。またケアマネcaféよしおかは好評だったため2回開催した。

④在宅医療介護連携推進事業

- ・ 渋川地区在宅医療介護連携支援センター会議

12回 5(13回) 4(15回) 3(16回) 2(14回)

- ・ 渋川地区在宅医療介護連携支援センター講演会等協力

10回 5(10回) 4(10回) 3(14回) 2(7回)

渋川地区在宅医療介護連携支援センターと協同し、渋川地区（渋川市・榛東村・吉岡町）の医療と介護連携に努め、地域包括ケアシステムの構築を目指す。月1回の調整会議に参加し、情報を共有し、講演会等の開催協力や周知活動を行っている。

⑤認知症総合支援事業

- ・ 認知症初期集中支援チーム支援件数

3件 5(1件) 4(1件) 3(1件) 2(5件)

認知症サポーター養成講座、認知症カフェの運営、認知症サポーターの研修や交流等に対し専門職として助言等で運営に協力した。認知症初期集中支援チームは、認知症で困っている方やその家族に対して支援を行えた。包括の認知症地域支援推進員は9月のアルツハイマー月間に認知症に関する取り組みの他、認知症カフェの利用者やボランティアの声をまとめ掲示した。

⑥介護予防支援業務

- ・ 要支援者延人数 2,560人 5(2,488人) 4(2,301人) 3(2,079人) 2(2,074人)
- ・ プラン作成延件数 1,074件 5(1,126件) 4(1,031件) 3(893件) 2(881件)
- （内、委託件数） 592件 5(601件) 4(488件) 3(387件) 2(324件)

要支援1・2の認定を受けた方が、自宅で介護予防のためのサービスを適切に利用できるようなケアプランの作成やサービス事業所との連絡・調整等を行う。プラン作成延件数は昨年度より4.8%減少し、委託割合は55.1%(前年比1.7%増)であった。

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
町受託金収入	23,645,144円	19,546,412円	18,606,962円	20,763,875円	23,743,180円
介護報酬収入	3,931,520円	4,116,570円	4,704,780円	5,167,020円	5,006,613円
補助金収入	145,000円				
事業費	27,721,664円	23,662,982円	23,311,742円	25,930,895円	28,749,793円

⑦地域支援事業（介護予防ケアマネジメント）

- ・ 事業対象者延人数 102人 5(97人) 4(100人) 3(153人) 2(149人)
- ・ プラン等作成延件数 559件 5(557件) 4(524件) 3(494件) 2(551件)
- （内、委託件数） 269件 5(220件) 4(162件) 3(66件) 2(121件)

「総合事業」における「介護予防・生活支援サービス事業」の中に位置づけられており、要支援者・事業対象者に対して適切なサービスが包括的かつ効率的に提供されるよう必要な援助を行う。プラン作成延件数は昨年度とほぼ横ばい、委託割合は48.1%(前年比8.4%増)委託件数は月平均で4件増加した。

【総合的見解】

個別の相談などから地域の課題を把握することができた。今後はさらに地域とのつながりを強化していく。高齢者支援において困難を抱える家族への関わりが必要な場面が増えている。今後関係機関と連携をはかり問題解決をしていく。

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
町受託金収入	3,379,192円	4,495,285円	4,794,432円	5,322,528円	5,871,097円
介護報酬収入	2,541,080円	2,226,240円	2,421,120円	2,572,560円	2,637,153円
事業費	5,920,272円	6,721,525円	7,215,552円	7,895,088円	8,508,250円

その他の事業

1. 群馬県共同募金会・吉岡町共同募金委員会業務

1.) 一般募金（赤い羽根共同募金）

10月18日から町内全世帯に自治会を通してチラシ等を配布し、募金趣旨の啓発、募金の協力を呼びかけた。

年度	戸別募金			学校・イベント募金	合計	
	協力世帯数	募金額	納入率		募金額	前年度比
令和 2 年度	5,958世帯	2,387,300円	72.5%	79,406円	2,466,706円	102.9%
令和 3 年度	5,807世帯	2,322,800円	68.9%	83,394円	2,406,194円	97.5%
令和 4 年度	6,004世帯	2,401,600円	69.2%	82,823円	2,484,423円	103.3%
令和 5 年度	5,961世帯	2,384,400円	67.3%	73,991円	2,458,391円	99.0%
令和 6 年度	6,171世帯	2,468,400円	68.7%	73,907円	2,542,307円	103.4%

2.) 歳末たすけあい募金

10月18日から町内全世帯（生活保護及び施設入居者は除く）に自治会を通じて募金使途チラシ等を配布し、募金趣旨の啓発と募金の協力を呼びかけた。又、町内法人には高崎法人会吉岡地区会並びに、吉岡町商工会等を通じて募金趣旨を啓発、募金の協力を呼びかけ、更に民生児童委員・社協役職員による訪問を行い募金活動を実施した。

年度	戸別募金			法人募金		
	協力世帯数	募金額	納入率	協力法人数	募金額	前年度比
令和 2 年度	5,981世帯	1,794,500円	72.7%	261法人	1,358,514円	100.6%
令和 3 年度	5,815世帯	1,744,500円	69.0%	272法人	1,382,235円	101.7%
令和 4 年度	6,019世帯	1,805,700円	69.3%	270法人	1,403,200円	101.5%
令和 5 年度	5,972世帯	1,791,600円	67.4%	271法人	1,539,656円	109.7%
令和 6 年度	6,176世帯	1,852,800円	68.7%	269法人	1,663,066円	108.0%

年度	団体募金		個人募金・その他		合計	
	協力法人数	募金額	協力者数	募金額	募金額	前年度比
令和 2 年度	1団体	30,000円	1人	10,000円	3,193,014円	102.0%
令和 3 年度	1団体	30,000円	3人	19,057円	3,175,792円	99.5%
令和 4 年度	1団体	30,000円	4人	91,000円	3,329,900円	105.0%
令和 5 年度	1団体	30,000円	4人	17,859円	3,379,115円	101.5%
令和 6 年度	1団体	30,000円	4人	16,000円	3,561,866円	105.4%

3.) 吉岡町共同募金委員会（H24. 8.17 設立）

(1) 事業概要

県共募の定める諸計画に基づき、町内の地域福祉向上の推進のため、住民の参加を図り民意を十分に反映し共同募金運動を行うことを目的に設置する。

(2) 吉岡町共同募金委員会開催状況

開催年月日	議 題
6. 5. 27	運営委員の選任について 正副会長の選任について 監事の選任について 令和6年度 共同募金地域配分基準及び特別配分基準の制定について 令和6年度 吉岡町共同募金委員会共同募金推進計画について
6. 9. 20	運営委員の選任について 会長の選任について 令和6年度 共同募金運動実施について
7. 3. 7	令和6年度 共同募金（7年度事業）配分申請書の審査について 令和6年度 吉岡町共同募金委員会共同募金推進計画の変更について

2. 吉岡町民生委員児童委員協議会

平成27年4月、町から事務局が移管された。民生委員児童委員協議会の主な活動状況は以下のとおりだった。

- ・毎月1回 役員会、定例会開催。
- ・子育てサロンよしおか 12回 参加延人数：保護者231人・子238人
- ・視察研修 令和6年7月5日/群馬リハビリテーション病院、12月4日～5日/石川県能美市防災センター
- ・各種研修会に参加

3. 各種福祉団体支援

団体支援の説明を記載 ※()内の5:は5年度実績、4:は4年度実績、3:は3年度実績、2:は2年度実績

団 体 名	会員数	支 援 内 容	補助金額
更生保護女性会	72人	社会を明るくする大会への協力支援 (5: 76人、4: 86人、3: 87人、2: 87人)	10,126円
老人クラブ連合会	383人	総会、県・会主催事業(グラウンドゴルフ大会、輪投げ大会)への協力支援 (5: 418人、4: 409人、3: 436人、2: 480人)	179,314円
ボランティア協会	88人	総会、会主催事業(環境美化等)、給食への協力支援、縫製活動の協力 (5: 106人、4: 115人、3: 124人、2: 134人)	130,000円
身体障がい者自立更生会	17人	総会、会主催事業(輪投げ大会、室内グラウンドゴルフ大会等)への協力支援 (5: 19人、4: 18人、3: 22人、2: 22人)	0円
知的障がい児(者)親の会	7人	会議開催等への協力支援 (5: 6人、4: 6人、3: 6人、2: 6人)	0円
遺 族 会	80人	総会、護国神社(みたま祭・例大祭)、研修旅行、県戦没者追悼式への協力支援 (5: 85人、4: 90人、3: 99人、2: 101人)	84,000円

会計の区分一覧（経理規程第7条第4項）

当法人が設定する事業区分、拠点区分、サービス区分は下記のとおりとする。

事業区分 (大分類)	拠点区分 (中分類)	サービス区分 (小分類)
I. 社会福祉事業 P1～P23	i. 地域福祉事業拠点 P1～P22	1. 法人運営事業サービス区分 P1～P2
		2. 地域福祉事業サービス区分 P2～P8
		3. 日常生活自立支援事業サービス区分 P8
		4. 共同募金配分金事業サービス区分 P9～P12
		5. 受託事業サービス区分 P12～P18
		6. 善意銀行貸付事業サービス区分 P18
		7. 退職手当積立金事業サービス区分 P19
		8. 老人福祉センター指定管理事業サービス区分 P19～P20
		9. 学童クラブ管理事業サービス区分 P21～P22
	ii. 介護保険事業拠点 P23	1. 介護保険事業サービス区分 P23
II. 公益事業 P24～P27	i. 生活困窮者自立相談支援事業拠点 P24	1. 生活困窮者自立相談支援事業サービス区分 P24
	ii. 成年後見制度事業拠点 P25	1. 成年後見制度事業サービス区分 P25
	iii. 地域包括支援センター事業拠点 P26～P27	1. 地域包括支援センター事業サービス区分 P26～P27

その他の事業 P28～P29	1. 吉岡町共同募金委員会 P28
	2. 吉岡町民生委員児童委員協議会 P29
	3. 各種福祉団体支援 P29